

Point

J R 東海 大阪修繕車両所分会分会情報
No. 34 2010. 03. 02.
発行責任者 坂東 貞男
編集責任者 教 宣 部

『架線切断事故』の業務委員会開催 その2

舟体交換作業時に管理者も・・・誰が見ても 管理者・管理体制に問題・責任有り！！

JR東海本部は、2月18日に行われた業務委員会で会社が的確な回答をしないために時間ばかりかかってしまい時間切れとなったため、26日に会社との業務委員会を再開し、引き続き『架線切断事故』の真の原因究明を行ってきました。

業務委員会では、前回同様に「当該作業員3名のヒューマンエラーでボルト締結失念したために起きた事故である」との主張をするばかりで、対外的には『管理監督責任』として関係者の処分を発表しておきながら、管理者の責任・会社の管理責任を一切認めようとはしないという矛盾かつ不誠実な回答ばかりでした。

【事実として 1,000 km 走行した】(事実で片付けて、安全は守れないぞ！！)

組合:現場では2月25日からパンタグラフ特別教育を実施しているが、実作業経験から取付ボルトなしでは舟体は軽く触れただけで落下する。組合は、ボルトが取付られていなかったら1,000kmの走行など不可能だと断言する。ボルトがない状態を本当に確認したのか。

会社:確認した上で、ボルトがない状態で1,000km走行したと判断している。

事実として 1,000 km 走行したとしか答えられない。

組合:ボルトが取付られていなかったら、1,000kmの走行は不可能だ。車両所構内で舟体は外れて落下する。

【舟体取替えは東京仕業検査車両所の管理者が判断】

【アーク痕発生源は霜によるものと考えている】

(「考えている」そんないい加減な判断で舟体を替えたのか！？)

こういうケースでは手落ち無く考えて最も安全と思われる

パンタグラフ一式交換でしょう！！誰が考えてもそうでしょう！！)

組合:舟体取替えの判断をしたのは誰か。

会社:東京仕業検査車両所の管理者が判断した。

組合:特殊な作業(車両所では過去数回、平成21年度ははじめて)という認識は、舟体取替えの判断を下した管理者にあったのか。

会社:希な作業だとは認識している。特殊な作業とも特別難しい作業とは思っていない。ボルトの取付、取外しの作業である。

組合:パンタグラフのバネ圧は測定したのか。離線でアーク痕が発生する。

会社:アーク痕発生源は霜によるものと考えている。

ウラへ続く

【指導するためではなくアドバイスのため】

(管理者が作業指示しないでアドバイス??)

アドバイスというなら必ずしも守らなくてもいいというのか!?

それで管理者といえるのか!! 管理者をかばうにもほどがあるぞ!!)

組合: 児玉助役は、外勤にナイロックボルトのトルク値を聞きに来て、外勤からPHSで当直にトルク値を聞いて屋根上に上がったと聞いている。

希な作業だから、しっかり指導しようと思って聞いたのではないのか。

会社: PHSでトルク値を問い合わせたが、**指導するためではなくアドバイスのため**である。

組合: トルク値を問い合わせ、作業者に伝えたのであれば、それは作業指示ではないのか。

会社: **アドバイスである。管理者として作業者に声をかけたということだ。**

組合: 12号車に管理者がいたのは事実である。

会社: **作業指示をするために屋根上にいたのではない。**

組合: 作業は見えていなかったのか。

会社: **視覚には入っていたかも知れない。**

【管理体制に問題はない】 (「言っていない」と言いながら「把握していない」

いい加減な回答もたいがいにして!!)

組合: 管理者はこの作業にまったく責任はないという見解か。組合は管理者が作業責任者という認識だ。

会社: **管理者の責任は議論はしない。**

組合: . . . 東京交番検査車両所の桐村所長が「管理体制にも問題があった」と点呼で述べている。確認していないのか。

会社: 「管理体制にも問題があった」とは**言っていない。**

組合: 社員は聞いている。確認する。

会社: どの様な主旨での発言かは確認しているが、どの様な言い方をしたかは**把握していない。**

組合: 会社は「管理体制に問題はない」という認識でいいのか。

会社: そうである。

以上が本部・会社間で行われた26日の業務委員会のやり取りの一部です。

皆さん！会社の回答をどう思われます！？

会社は「管理体制・管理者に問題・責任なし」と言い切りながら、管理監督責任で関係者を処分したこと、そして事故後に急きょ発行された技術連絡やチェックシート、そして舟体取替訓練まで行っている事実を会社は何というのでしょうか?? 問題があったから急きょ対策を講じているのは間違いありません。それとも関東運輸局向けのポーズとでも言うのでしょうか??

JR東海会社は3人への処分を撤回しろ！！

処分では絶対！絶対！絶対！安全は守れない！！

私たち東海労は、責任追及でなく背景部分までも含めた総合的な事故原因の究明、そして真の対策を私たちは求めます。